



2023 年度 環境経営レポート

対象期間：2023 年4月1日～ 2024 年3月31日



作成日：2024年5月30日
更新日：2024年10月18日

株式会社ケアマスター

目 次

項 目	ページ
経営理念・環境経営方針	1
組織の概要	2
事業・製品の紹介	3
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	4
主な環境負荷の実績	5
環境経営目標及びその実績	5
環境経営計画の取組結果とその評価	6
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟等の有無	9
緊急事態対応訓練	9
代表者による全体の評価と見直し・指示	10
これまでの環境活動の紹介	11



【経営理念】

- 一、私たちは、喜びと感動を第一に考え
安らぎのある住環境を提供し続けます。
- 一、私たちは、誇りと和を大切にし
豊かな価値を創造し続けます。
- 一、私たちは、環境・文化を大切にし
信頼される企業づくりを目指します。



株式会社 ケアマスター
代表取締役 上田 稔

環境経営方針

私たちは、清掃やメンテナンス、工事等の業務を通じて持続可能な社会の実現と「きれい」を維持することによって安心・安全な環境づくりを目指し、地球温暖化の緩和への取り組みや、地域の環境活動に自主的・積極的、継続的に取り組みます。

1. 環境関連法規制等を順守します。
2. 社内の電力及び自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減に努めます。
3. 省資源・廃棄物削減・リサイクルの推進に努め、エアコン洗浄廃液や剥離洗浄汚水の回収を徹底し環境負荷軽減に努めます。(循環型社会の構築)
4. 水道使用量の削減に取り組みます。
5. 化学物質を含まない洗剤や保護剤の使用を推進し、化学物質使用量削減に努めます。
6. 社内設備機器や資材など、環境に配慮した物品の購入を推進します。
7. お客様へ環境関連サービスを推進します。
 - ・エアコン洗浄を推進し消費電力削減に貢献します。
 - ・フロアコーティングや剥離の要らないメンテナンスシステムを推進し、環境負荷軽減に貢献します。
 - ・フロアコーティング剤の販売促進を図り、ノンワックスの普及を図ります。
8. 災害など緊急時への対応力を強化します。
9. 地域の自治体等と連携し、地域の美化運動に取り組みます。

制定日：2015年10月10日

改定日：2021年7月7日

代表取締役 上田 稔

(1) 名称及び代表者名

株式会社ケアマスター
代表取締役 上田 稔

(2) 所在地

本 社 大阪府堺市堺区桜之町東1-2-3
 洗浄工場 大阪府堺市堺区桜之町東1-2-5
 旅籠倉庫 大阪府堺市堺区北旅籠町東1-2-25
 資材倉庫 大阪府堺市堺区桜之町東1-1-24
 東京支店 東京都中央区日本橋本町3-4-1-313 (2023年7月末まで)
 東京都千代田区神田須田町1-21-4-2階 (2023年8月から)
 埼玉営業所 埼玉県川口市江戸袋1-21-21

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 大阪支店 中武 惇 TEL: 072-229-3033
 担当者 総務部 西川 幸男 TEL: 072-229-3033

(4) 事業内容

ハウスクリーニング及びビルメンテナンス事業
 空調設備の保守メンテナンス及び工事
 空調機器他洗浄事業

(5) 事業の規模

売上高 286 百万円
 主要工事件数 8 件

	本 社	洗浄工場	旅籠倉庫	東京支店	合計
従業員 名	25 名	0 名	0 名	3 名	28
延べ床面積 m ²	180 m ²	170 m ²	96 m ²	17 m ²	463

第一種フロン類充填回収業

自治体	登録番号	登録年月日	登録有効期限
大阪府	第2992号	平成26年11月17日	令和6年11月16日
兵庫県	第281000695号	平成27年1月20日	令和7年1月19日
滋賀県	25A15021115	平成27年2月18日	令和7年2月17日
奈良県	291410998	平成27年2月19日	令和7年2月18日
和歌山県	3002610039	平成27年2月25日	令和7年2月24日
京都府	第2611438号	平成27年3月5日	令和7年3月4日

建設業許可 管工事業 大阪府 (般一30) 第140511号 平成30年12月6日～平成35年12月5日
 電気工事業 大阪府 第2916-0268号

建築物飲料水貯水槽清掃業 登録 大阪府3貯第3-5 令和3年9月9日～令和9年9月8日

産業廃棄物収集運搬業 大阪府 第02700198016号

許可年月日平成29年12月4日 有効年月日令和9年12月3日

※自社運搬に使用

(6) 事業年度

4 月 1 日 ～ 3 月 # 日

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名：株式会社ケアマスター
 対象事業所：本 社
 洗浄工場
 旅籠倉庫 (元資材倉庫)
 東京支店 (元東京営業所)
 埼玉営業所

対象外：無し
 活動：ハウスクリーニング及びビルメンテナンス事業
 空調設備の保守メンテナンス及び工事
 空調機器他洗浄事業

事業の紹介

事業概要

お客様に「喜び」、「感動」されるサービスを目指しています。

空調・電気工事業

空調設備の新設工事に伴う設計施工や、パッケージエアコンやビル用マルチエアコンなどの更新工事や、それに付随する電気工事も行っております。

- ◆ 新築工事
- ◆ 更新工事
- 上記に伴う電気工事



清掃・メンテナンス事業

プロのおそうじを追求したハウスクリーニングや各種美装工事業務と店舗やビルにおける定期清掃や日常清掃業務を行っております。またUVコーティングを使用したメンテナンスや特殊清掃なども、お任せください。

- ◆ ハウスクリーニング全般
- ◆ 各種洗い工事
- ◆ 店舗清掃
- ◆ 貯水槽清掃
- ◆ 建築美装全般
- ◆ ビル清掃
- ◆ 排水管洗浄



UVコーティング事業

UVコーティングシステム「ウィナップ」の開発や販売、施工を行っております。また環境配慮型の新しい塗料開発も同時に行い、環境負荷軽減を目指しています。

- ◆ ウィナップシステムの企画、開発及び販売、施工



空調機保守メンテナンス事業

定期的なフィルター清掃や保守点検業務をはじめ、緊急時の故障対応や修理サービスを行っております。また業務用エアコン分解洗浄においては年間4,000台以上の施工実績があり、大型施設など多種多様な場面に対応しております。

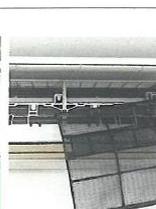
- ◆ エアコン洗浄(家庭用・業務用)
- ◆ 保守点検業務
- ◆ 修理サービス業務



洗浄工場事業

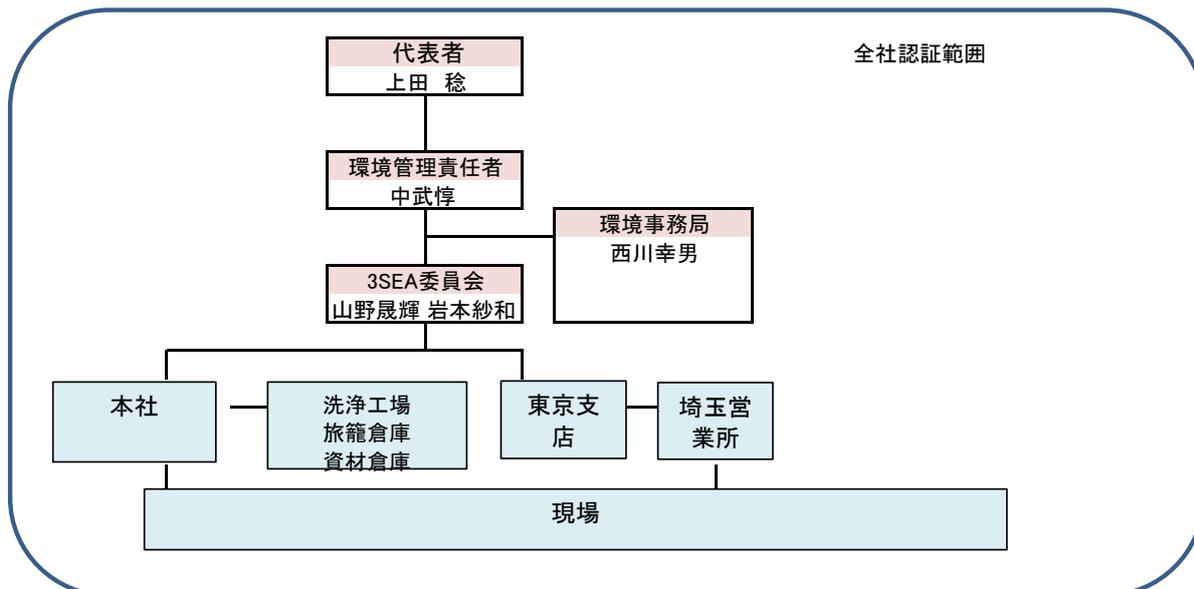
現場で汚水を出す事が出来ない工場や施設などのエアフィルターをはじめ、集塵機やグリスフィルターなどを弊社工場にて洗浄業務を行っております。洗浄業務をアウトソーシングいただくことで、人手不足や業務効率を上げるお手伝いをいたします。

- ◆ エアフィルター洗浄
- ◆ 集塵機洗浄
- ◆ グリスフィルター洗浄
- ◆ エアコン取り外し洗浄



□環境経営組織図及び役割・責任・権限表

更新日：2024年3月31日



	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 環境管理責任者を任命 環境経営方針の策定・見直し 環境経営目標・環境経営計画書を承認 代表者による全体の評価と見直し、指示 環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 環境経営目標・環境経営計画書を確認 環境活動の取組結果を代表者へ報告 環境経営レポートの確認
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐、3SEA委員会の事務局 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 環境活動の実績集計 環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
3SEA委員会	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営計画の審議 環境活動実績の確認・評価
部門長	<ul style="list-style-type: none"> 自部門における環境経営方針の周知 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 試行・訓練を実施、記録の作成 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□主な環境負荷の実績

項目	単位	2021年	2022年	2023年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	40,870	48,053	39,043
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	kg	190	147	170
産業廃棄物排出量	kg	22,531	21,173	18,286
総排水量	m ³	275	368	307

※二酸化炭素排出係数 本社 0.000 kg-CO₂/kWh 電力会社の調整後の係数
東京 0.456

※一般廃棄物は焼却ごみ

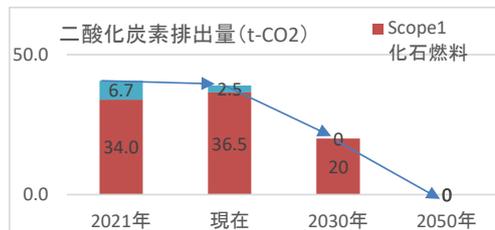
※産業廃棄物には有価物も含む

※負荷の実績は工事現場を含む

カーボンニュートラルに向けたわが社の取り組み

単位：t-CO₂

	Scope1 化石燃	Scope2 電力	対 策
2021年	34.0	6.7	
現在	36.5	2.5	省エネ+ハイブリッド車+再エネ電力
2030年	20	0	省エネ+太陽光発電+電気自動車+再エネ
2050年	0	0	省エネ+太陽光発電+電気自動車+再エネ



□環境経営目標及びその実績

項目	年度	単位	基準値 (基準年)	2023年		評価	2024年	2025年
				(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂		7,185	7,185	2,501	○	6,825	6,825
	基準年度比		2021年	100%	35%		95%	95%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂		33,999	33,999	36,393	×	33,659	33,319
	基準年度比		2021年	100%	107%		99%	98%
	燃費	km/L	8.57		8.80	○		
上記二酸化炭素排出量	kg-CO ₂		41,184	41,184	38,894	○	40,485	40,145
電力使用量の削減	kWh		19,149	19,149	19,552	×	18,191	18,191
	基準年度比		2021年	100%	102%		95%	95%
	原単位	kWh/千円	0.032	0.032	0.009	○		
一般廃棄物の削減(可燃ごみ)	kg		318	222	170	○	222	222
	基準年度比		2021年	70%	53%		70%	70%
混合廃棄物の削減	kg		19,996	19,596	16,770	○	19,396	19,196
	基準年度比		2021年	98%	84%		97%	96%
	原単位	kg/千円	0.090		0.059	○		
水道水の削減	m ³		313	307	307	○	313	313
	基準年度比		2021年	100%	98%		100%	100%
化学物質の使用量削減	kg		640	640	451	○	640	640
	基準年度比		2021年	100%	70%		100%	100%
コーティング剤の販売促進	kg			240	80	×	2,000	3,000
	売上目標				33%		833%	1250%
サービスへの環境配慮(エアコン洗浄)	台		4,222	4,433	4,692	○	4,644	4,855
	基準年度比		2021年	105%	111%		110%	115%
環境に配慮した工事の推進	行動目標(次項による)							

※灯油は少量のため目標としていない。

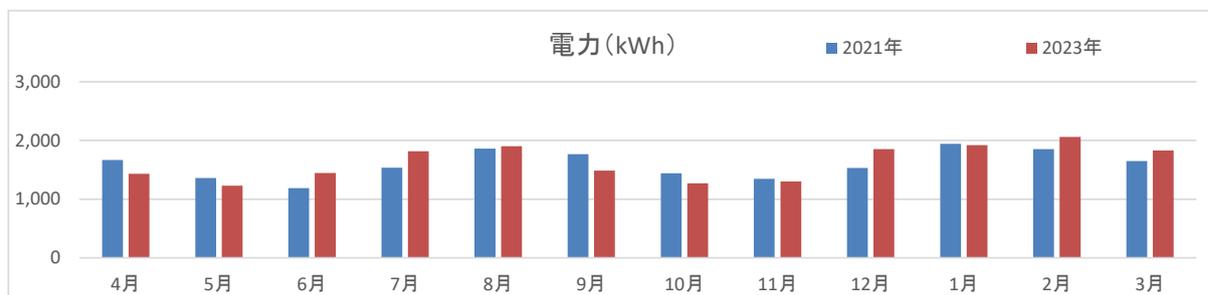
※その他、社内設備機器や資材など、環境に配慮した物品の購入を推進しています。COOL CHOICEにも賛同登録しています。

□環境経営計画の取組結果とその評価

数値目標:○達成 ×未達成

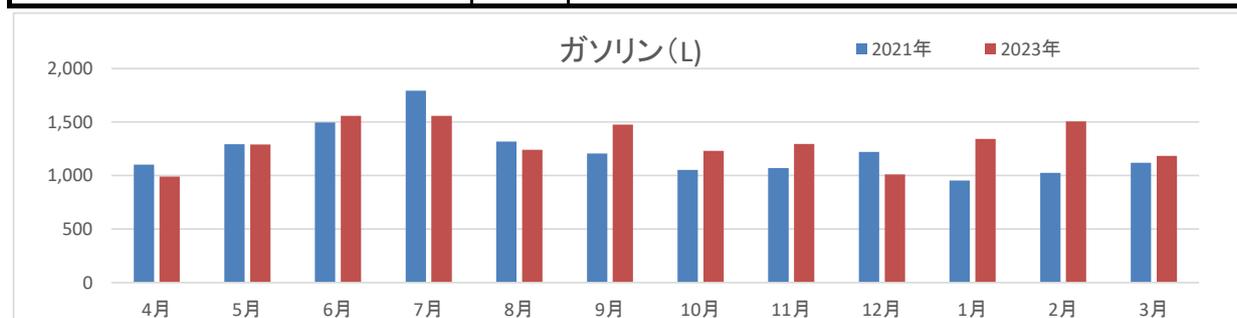
活動:○よくできた △まあまあできた ×できなかった

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標(CO2)	○	二酸化炭素排出量は本社で再エネ電力を採用したことで、基準年比100%に対し実績は35%でした。 一方、電力使用量は107%でした。 夏季の猛暑により冷房の電力が増加したと考えられる。 次年度は本社を移転する計画があるので、省エネのエアコンを導入して改善を図る。
数値目標(kWh)	×	
・不要照明の消灯の徹底	○	
・冷暖房の適正温度の周知	×	
・使用していない部屋の空調の停止	○	



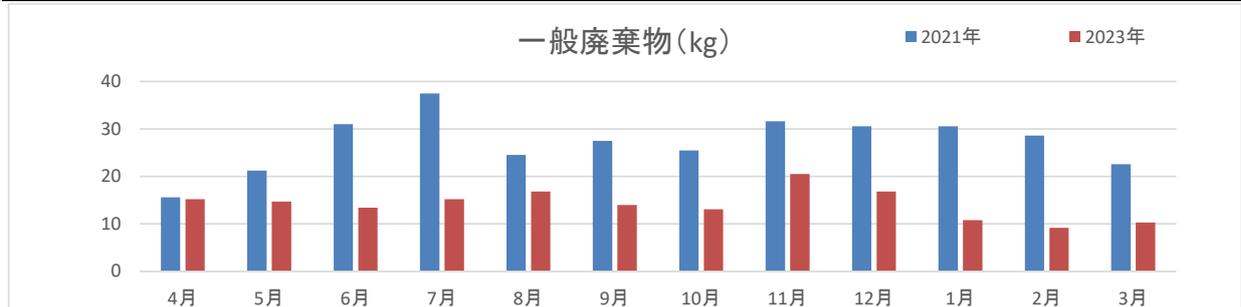
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2021年	1,668	1,362	1,189	1,535	1,860	1,768	1,441	1,345	1,534	1,943	1,854	1,650
2023年	1,433	1,228	1,447	1,817	1,902	1,489	1,269	1,303	1,855	1,919	2,061	1,829

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	基準年比100%に対し実績は106%でした。 売上が129%となり仕事量が増加したことが原因だと考えられる。 次年度はエコドライブを心がける。
・エコドライブの推進	○	
・効率的なルートで配送	△	
・定期的なタイヤ空気圧の点検	△	



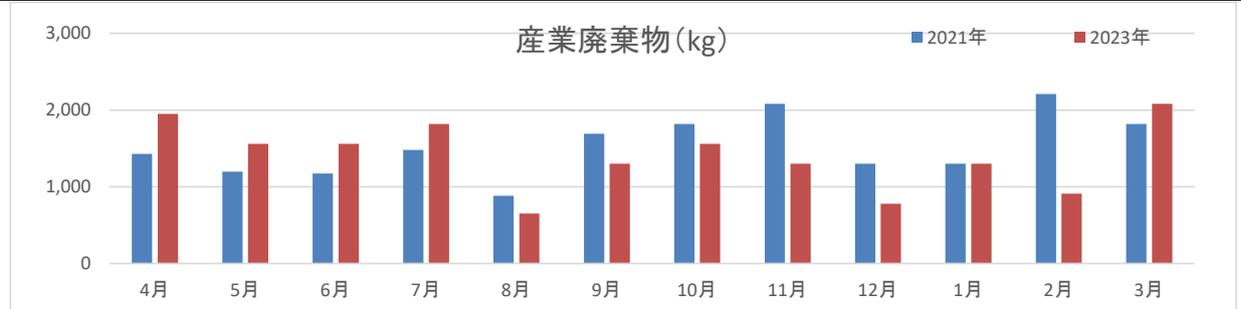
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2021年	1,103	1,293	1,497	1,793	1,317	1,207	1,054	1,070	1,222	955	1,026	1,118
2023年	991	1,291	1,557	1,559	1,241	1,477	1,231	1,296	1,011	1,343	1,505	1,184

一般廃棄物の削減(可燃ごみ)	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	基準年度比70%に対し実績が52%でした。
・分別の徹底	△	コピー用紙を処分する際にシュレッターを使用し古紙回収することで削減につながった。
・使用済み用紙の裏面利用	△	次年度はまた新たな案を考えて実行をしていく。
・ミスコピー防止の為、印刷前の設定確認	△	
・不在在庫削減	○	



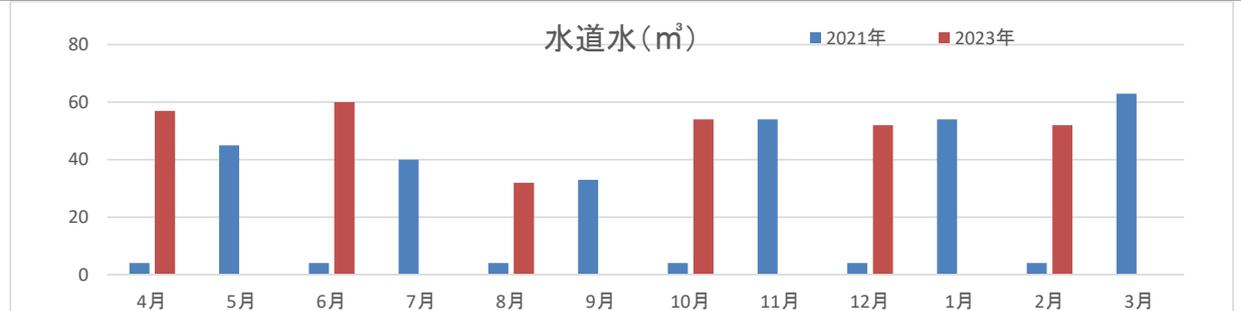
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2021年	16	21	31	38	25	28	26	32	31	31	29	23
2023年	15	15	13	15	17	14	13	21	17	11	9	10

混合廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	基準年度比98%に対し実績は91%でした。
・作業ミスによる廃棄量の削減	△	養生シートをできる限り再利用するように心がけた結果と考えられる。
・素材別ボックスの設置及び利用の徹底	○	
・廃棄物管理票(マニフェスト)の管理	○	次年度は作業ミスがないように心がける。



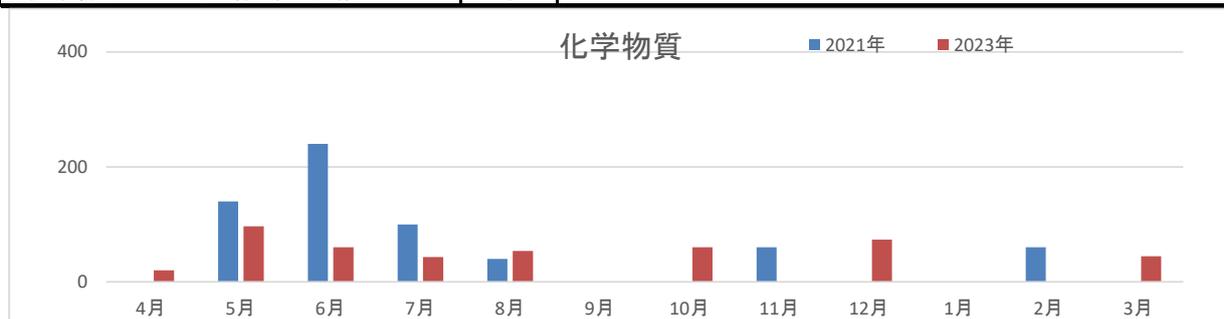
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2021年	1,430	1,196	1,172	1,482	884	1,690	1,820	2,080	1,300	1,300	2,210	1,820
2023年	1,950	1,560	1,560	1,820	650	1,300	1,560	1,300	780	1,300	910	2,080

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	基準年度比が100%に対し実績は98%でした。
・ゴミの事前処理の徹底	○	東京支店の移転に伴い水道代が共益費に含まれ集計されなくなったことによる。
・水質汚濁の少ない方法を考える	○	次年度は本社の移転をする際に節水型のトイレを導入することで削減を図る。



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2021年	4	45	4	40	4	33	4	54	4	54	4	63
2023年	57	0	60	0	32	0	54	0	52	0	52	0

化学物質の使用量削減		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標		○	基準年度比が100%に対し実績は70%でした。
・有害性物質の表示の徹底		○	エアコン洗浄液を環境負荷の少ない洗浄液に変える事により購入量が減ったと考えられる。
・作業ミスによる使用量増加の抑制		△	次年度は引き続き環境負荷の少ない洗浄液の使用に取り組む。
・発注量の適正化		○	
・在庫管理による不良在庫の削減		○	



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2021年	0	140	240	100	40	0	0	60	0	0	60	0
2023年	20	97	60	43	54	0	60	0	74	0	0	45

コーティング剤の販売促進		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標		×	目標が240kgに対し80kgに留まった。
展示会へ出展		×	次年度は実態を踏まえて目標を見直す。

サービスへの環境配慮(エアコン洗浄)		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標		○	目標が105%に対し実績は111%でした。
・お客様への事前報告(騒音振動など)		○	次年度は今年度比115%を目指す。
・エアコン洗浄の提案(売上目標)		△	
・フロアコーティングの提案		○	
・現場への事前調査の徹底		△	
・洗浄廃液の持ち帰り徹底		×	

環境に配慮した工事の推進		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・工事の効率化		○	今年度は社員数は減数したが、協力業者の増加に伴い効率良く作業が実施できた。
・作業ミスの防止		○	次年度は環境に配慮した工事の推進項目を見直し、新たな目標を設定する。
・顧客クレーム削減		△	
・廃棄物の再資源化の推進(別項目で実施)		×	

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無
 法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物(混合、汚泥等)
水質汚濁法	有害物質の流出事故時の措置と届出
労働安全衛生法	SDS義務物質のリスク評価
PRTR法	性状及び取扱に関する情報(SDS)の受取・発行
消防法（危険物）	危険物の保管
フロン排出抑制法	充填・回収の委託、業務用空調機簡易点検
顧客要求事項	指定化学物質の管理(非使用、基準遵守等)

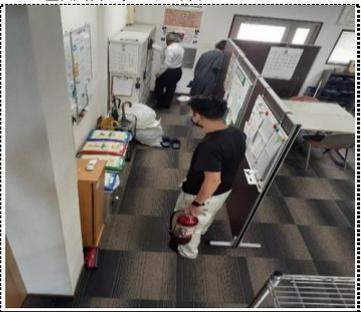
環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
 なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□緊急事態対応訓練

2023年度は実施していない

理由：社内組織改編の途中で委員会が活動できていなかった為

下記は2022年度実施のもの

緊急事態の想定： 火災の発生	
■実施日： 2022年8月4日	■実施場所 本社
■参加者： 中武、野口、岡本、大谷、今井、岩本、永野、西川	■実施内容： ・通報訓練、消火訓練、避難訓練
■評価： 訓練の内容として過不足なく問題ない。しかし、避難場所の洗浄工場に消火器を置いていない現状が発覚し、早急に設置すること。また、デスク回りの配線ケーブルなど多く、乱雑になっているため、配線ケーブル等の整理、改善が必要と感じた。	手順書の変更の必要 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
■実施状況の様子	
・ 緊急電話の風景	v 避難誘導の風景
	
	隣の建物へ避難・集合
	

※2023年度は実施が出来ませんでした。2024年4月に実施を計画しております。

□代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2024年5月30日

【前回の指示への取組結果】 毎月では無いがチェックは出来たが、改善への取り組みまで至らなかった。	
＜情報＞	＜見直し・指示＞
◇自社を取り巻く環境問題の変化 (社会的情勢、利害関係者の要求等) コロナ禍やウクライナ侵攻などの影響で物資不足や燃料高が懸念される	◇環境方針 環境方針の変更はありませんが、自社で新たに設定した10年ビジョンの大項目に「環境を追求する」と掲げました。2021年7月7日改訂版が最新
◇環境経営目標・計画の達成状況 化学物質使用量などはコーティング剤の取組みで改善しているが、一般ごみの量も取組みによって減少しているが、産業廃棄物の排出量が増加しているため、ごみの分別を次年度は重点的に行う。	◇環境経営目標・環境経営計画 基準年を前年対比に見直しより実効性の高い目標及び計画を策定すること。
◇その他 今年度の数値を基準年として、次年度以降を取り組んでください。	◇実施体制他 月1回の委員会で改善への取り組みを実施すること。改めて化学物質を含む洗浄剤等を最新版に見直す。
【総括】 2024年に新社屋への移転を控えているので、これを機会に本格的に事業拡大に取り組む。売上をあげる事や人員増加はもちろんのこと、環境に対する意識を向上していきたい。 次年度からは基準年を前年に変えて毎年確実に目標達成が出来るように全社一丸で取り組みたい。	

□これまでの環境活動の紹介

1. 3S推進委員会



- 「整理」「整頓」「清掃」
- 道具の管理
- 月1回の清掃活動
- 毎朝の5分間清掃

3S推進委員会では、社内の「整理」「整頓」「清掃」活動を実施しています。
道具や工具置場の定位置化で殆どの道具に番号を振り分け、使用した後、定位置に戻せるように工夫をしています。さらに洗剤などの在庫量も適正在庫量と発注単位を定め、少なくなったから誰でも注文できるしくみを取り入れています。
また、毎朝5分間の清掃活動や月1回の清掃活動で働きやすい職場環境を目指しています。
この3S活動を全社員で行う事で作業効率も上がり、より良い仕事づくりを心掛けています。

#

2. EA21推進委員会



- 燃料使用量の削減
- 水道光熱費の削減
- ゴミの分別とリサイクル
- 化学物質の使用抑制

EA21推進委員会では、エコアクションの取り組みとして主にCO2の排出軽減と化学物質使用の抑制、その他地球環境に対するエコへの取り組みを行っています。

無駄なガソリン使用を無くすため、アイドリングストップ低燃費車の購入など燃費向上への取り組みや、ビニールやダンボールなど、ゴミの分別を徹底しリサイクルを実施しています。エコアクションの取り組みを通じて限られた資源を有効活用し持続可能な社会づくりへの貢献を行っています。

3. 安全衛生委員会



- ヒヤリハットの記入推進
- 安全パトロールの実施
- 安全教育の実施

安全衛生委員会では、日々の作業での安全作業への推進活動を行っています。帽子やヘルメットの着用をはじめ適切な身だしなみの徹底やヒヤリハットの記入推進、また、事故やクレームの根本的な原因追求と再発防止に向けた取り組みを行っています。

4. その他の取り組み



- 新入社員研修
- 技術講習
- 現場実地研修

新入社員への研修は大阪府中小企業家同友会が主催する「営業マネジメントコース(6ヶ月間)」に参加して研修を行っています。また必要に応じ、資格取得に向けた実地研修用途に合わせた技術研修を随時行っています。